

このビジョンは、南信州広域連合において、「2050年に南信州を日本一住みたい地域にするためには」をテーマとして、4つのブロックに分かれて行われた議論を、地域づくりのイメージを共有するための絵姿としてまとめたもので、令和4年2月28日に開催された令和4年南信州広域連合議会第1回定例会全員協議会で公表された。

# 南信州リニア未来ビジョン

P. 21～

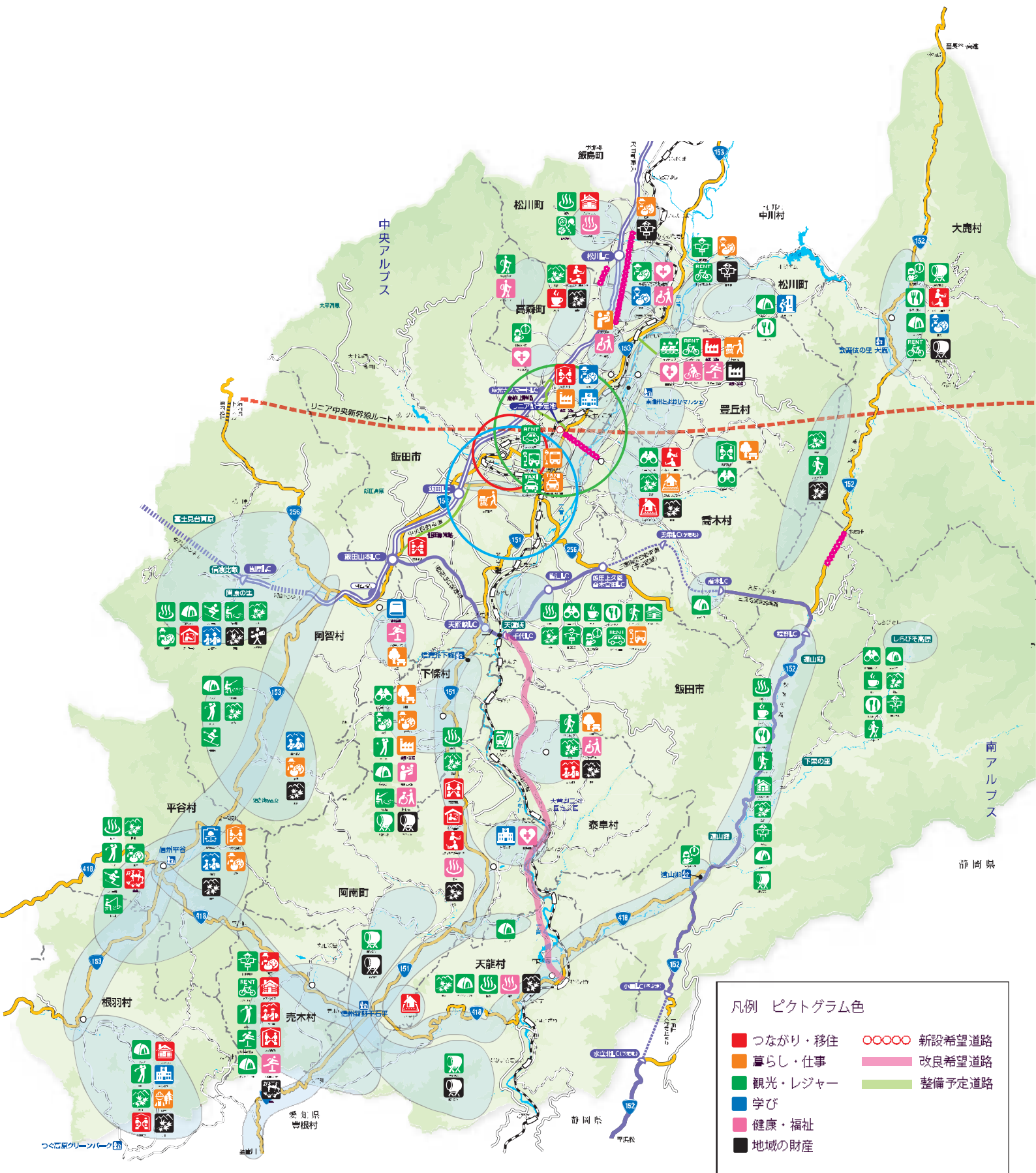
(議論のための)



令和4年2月版

南信州広域連合

# 南信州全域図【全分野】



## ■ つながり・移住の分野【赤】

### ○河岸段丘と山岳ゾーン



- ・高速道路ICやリニア県駅からのアクセスと眺望の良さを活かし、来訪者のためのゲストハウスやカフェ、情報インフラを整えたサテライトオフィスを整備
- ・天竜川周辺の平地には工業団地があり、研究機関を含めた新たな企業誘致を図る
- ・眺望の良さを活かした農地付き住宅やサテライトオフィスを整備し移住につなげる
- ・豊かな自然と眺望の良いエリアに情報インフラの整ったサテライトオフィスを整備



### ○飯田市3重心

### ○R153・R256沿線ゾーン



- ・幹線道路沿線の豊かな観光資源を活かした中長期的滞在プログラムを構築するとともに、情報インフラやゲストハウス等を整備し、定住につながる関係人口の増加を図る

### ○R151・R418・県道1号沿線ゾーン



- ・新たな暮らし、働き方への提案や備えとして、眺望の良い場所やアクセスの良い場所にコワーキングスペースやテレワーク等を整備
- ・滞在型市民農園や山村留学を活用した関係人口の拡大を図る

## ■暮らし・仕事の分野【橙】

### ○河岸段丘と山岳ゾーン



- ・豊かな自然の中で豊かな暮らしができる環境整備
- ・果樹栽培を始めとする農業支援や里山整備等による林業振興
- ・企業誘致等による地域産業の振興と暮らしの質の向上
- ・公共交通による生活路線の充実



### ○飯田市3重心

### ○R153・R256沿線ゾーン



- ・農林業と観光業の連携、エリアイメージとマッチした新たな商品開発など地域ブランド創出を推進する
- ・地域で暮らすあらゆる世代が集い、楽しみ、学び、移住者や来訪者も地域につながる交流の場と機会を充実する

### ○R151・R418・県道1号沿線ゾーン



- ・農業の担い手不足の解消のため、農業経営の継承、専業農家や兼業農家の育成に向けた取組みを推進
- ・南部公共バスの充実を図り、中心市である飯田市へのアクセスを向上

## ■観光・レジャーの分野【緑】

### ○河岸段丘と山岳ゾーン



- ・天竜川でのリバースポーツや、田園風景を楽しみながら流域を周遊できるサイクリングロードの整備
- ・眺望の良い段丘を活用し、農業体験のほかリニアビューポイントやグランピングなどの体験施設を整備
- ・高速道路IC、リニア県駅からのアクセスや眺望の良さを活かしたレジャー施設の整備、農業体験、山岳観光等の推進
- ・南アルプス登山口など山岳観光の拠点として、キャンプ、サイクリング、山岳トレイル等を整備



### ○R153・R256沿線ゾーン



- ・国道153号線と国道256号線の結節点に位置する屋神温泉をハブ拠点とし、多くの観光資源を結ぶ周遊型観光を推進する

### ○R151・R418・県道1号沿線ゾーン



- ・各町村に点在する温泉施設を拠点として、その周辺にある保養施設や観光施設と組み合わせることで回遊性を高め滞在へとつなげる

## ■学びの分野【青】

### ○河岸段丘と山岳ゾーン



- ・農業体験やものづくりなど、地域を学ぶ体験の場を充実させる
- ・高等教育機関の誘致に取り組み学びの選択肢を増やすと共に、この地域での就職につながっていく地域づくりを目指す



### ○飯田市3重心

### ○R153・R256沿線ゾーン



- ・山村留学や大学ゼミの夏合宿などの圏域外の学生の受入体制をさらに充実する
- ・学生にこだわらず「学びで生きたい人」をターゲットに、エリア全体を「学び」のフィールドとして、自然や暮らしの中の「学び」が地域内外の交流と合わせて提供できるプログラムを構築する

### ○R151・R418・県道1号沿線ゾーン



- ・県立阿南高等学校に民俗芸能に特化した学科を創設し、全国から高校生を募集する
- ・地域と連携し民俗芸能の保存や継承（後継者育成）を図る

## 健康・福祉の分野【桃】

### ○河岸段丘と山岳ゾーン



- ・住民のニーズを捉えた安心して利用できる医療の提供
- ・地域で支える福祉環境の整備
- ・健康づくりのための運動施設、自然に親しみリフレッシュできる保養環境の整備



### ○飯田市3重心

### ○R153・R256沿線ゾーン



- ・幅広い世代が気軽に運動や競技を楽しむ場を提供し、心身の健康増進と世代間交流を図る

### ○R151・R418・県道1号沿線ゾーン



- ・県立阿南病院と各町村にある診療所等と連携し、地域で支える福祉環境の整備
- ・健康づくりのための環境整備、リフレッシュするための保養施設等の充実
- ・高齢者福祉にかかる介護体制の整備。また、介護予防、在宅支援、施設介護等の場面で安心して暮らすことができる地域づくり
- ・自然に囲まれた温泉施設と近接する宿泊施設や健康増進施設等を活かし、プチ湯治場（医療ツーリズム、ウェルネスツーリズム）を整備

## ■地域の財産の分野【黒】

### ○河岸段丘と山岳ゾーン



- ・日本有数の河岸段丘と美しい眺望
- ・年間を通じて日照時間が長く、のどかな農山村風景が広がる
- ・地域に根付いている伝統芸能や伝統行事などの文化資源



### ○飯田市3重心

### ○R153・R256沿線ゾーン



- ・美しい星空が見える澄んだ空気、観光資源となる銘木や巨木、体験交流の場として親しまれる森林や清流が身近に存在し、暮らしと共に守り続けられている。

### ○R151・R418・県道1号沿線ゾーン



- ・豊かな自然環境や農山村風景、伝統芸能や伝統産業、行事等の固有の地域資源は地域の宝であり、貴重な財産として守り伝え、30年後の未来にも引き継ぐ。



## 7 おわりに

このビジョンは、「2050年に南信州を日本一住みたい地域にするための絵姿を描こう」という佐藤広域連合長の言葉から作業をスタートしました。今から30年後、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道が開通したこの地域が、どのように変わっているのか予測することは難しいですが、今ここに住む私たちが、いつの日か次の世代にバトンを渡すとき、「この地域に住んで良かった。これからも住みたい、住み続けて欲しい」と思える地域でありたいと思います。

住みたい地域とはどんな地域なのか。その答えは1つではありません。人によって様々かもしれません。しかし、より多くの人々が住みたいと思う地域の未来像を描くことは可能だと思います。大切なことは、「住みたい地域」のイメージと方向性を全体で共有し、その実現のために、限られた資源を効果的に投入していくことではないでしょうか。

この南信州リニア未来ビジョンは、そんな思いで策定したものです。一般的な行政計画のように「決定したもの」ではありません。地域の皆さんの意見を聞きながら、さらに成長させていきたいと考えています。